

高収益な農業に取り組む現場から学ぶ
— 土地改良事業の実施地区から —

平成30年3月
農林水産省

【工夫のポイント】

- 区画整理、畑地かんがい施設の整備により**地区の約6割を占める耕作放棄地を解消**し、優良農地を創出。
- 安定した品質の作物生産が可能となり、**特産のたまねぎやばれいしょ、きく等の作付が増加**し、産地規模が拡大。
- 土地改良区が主体となり、**地区外からの入植を積極的に受け入れながら、土地利用調整**を行ったことで、担い手への農地集積率は8割を実現。

基盤整備による耕作放棄地の解消と優良農地の創出

- 基盤整備により耕作放棄地が優良農地へ変貌。整備後は、大型農業機械の導入及び用水確保等により、**農作業の効率化**や**高収益作物の安定した生産が実現**。



基盤整備
(H20年～H27年)

【整備前】

狭小で不整形な畑地が多く、**農道・用排水施設も未整備**であったため、効率的な営農ができず**耕作放棄地が年々増加**。

全景



【取組地域の概要】

- 位置 長崎県諫早市



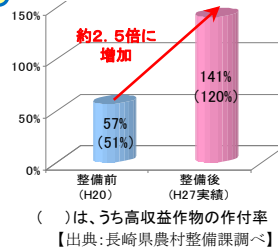
- 主要作物
・たまねぎ、ばれいしょ、にんじん、きく
- 主な支援施策
・県営畑地帯総合整備事業(H20～H27)
・多面的機能支払交付金(H19～)
・農地中間管理事業(H29～)
・強い農業づくり交付金(H24～)※ハウス建設
・産地パワーアップ事業(H28～)※ハウス建設

生産現場

高収益作物の生産面積拡大

- 諫早市の特産物である「たまねぎ」「ばれいしょ」の作付拡大と併せ、「きく」や「ほうれんそう」等の**施設園芸の規模も拡大**。
- 地区の東西で「たまねぎ」「ばれいしょ」と**作物を団地化**することで、**営農の効率化を図る**。

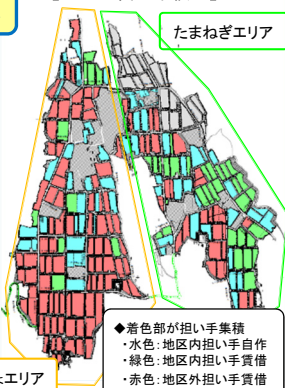
【小豆崎地区の作付率】



担い手の確保と経営規模拡大

- **地区外入植(14経営体)**を積極的に受け入れ、**担い手として、24の経営体を確保**。
- 地権者から利用権の白紙委任を受け、**作物に応じて担い手別に配分**。
- **土地改良区が主体**となって**土地利用調整**を行い、**担い手への農地集積率約8割を実現**。

【担い手農地集積図】



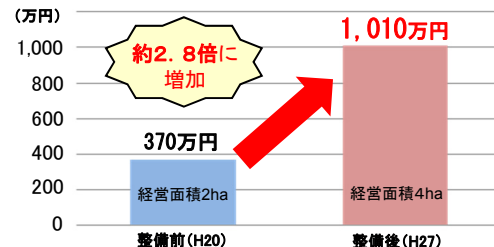
【出典：長崎県農村整備課調べ】

耕作放棄地解消と経営規模・高収益作物の生産拡大による農業所得の向上

- 基盤整備の実施によって耕作放棄地を解消。経営規模の拡大に加え、複数の作物を組み合わせた経営により、**安定的な営農体系が確立され、担い手の農業所得が増加**。
- **地区外からの入植を受け入れることで、地区内農家の栽培技術が向上**するなど取組の発展にも寄与。



【担い手1経営体当たりの平均農業所得】 (地区外含む担い手の経営)



【出典：長崎県農村整備課調べ】

※ 農業所得額は作付実績を基にした長崎県農村整備課による推計